

平成25年度 第2回安曇野市水道事業運営審議会 会議概要

- 1 審議会名.....平成25年度 第2回水道事業運営審議会
- 2 日 時.....平成25年 8月 5日 (月).....午後3時から午後3時50分まで
- 3 会 場.....安曇野市豊科総合支所 コミュニティ消防センター
- 4 出席者.....等々力政文委員、市川節子委員、飯沼良明委員、望月妃佐枝委員、  
百瀬重俊委員、務墓和加代委員、萩原賢司委員、望月静美委員.....
- 5 市側出席者.....中野純上下水道部長、井口久登業務課長、猿田久雄上水道課長、  
水谷茂管理係長、三澤工務係長、青柳治維持係長、  
山本宏一庶務担当係長、奥村実庶務担当係長.....
- 6 公開・非公開の別.....公 開.....
- 7 傍聴人.....0人.....記者.....1人.....
- 8 会議概要作成年月日.....平成25年 8月 9日.....

協 議 事 項 等

(開会) 午後3時

- ・開会 (井口久登業務課長)
- ・あいさつ (等々力政文会長)

議事① 三郷地域水道水の濁りについて

事務局

(議事①資料に基づき事務局で説明)

会 長

何か質問等あるか。

委 員

水道水の濁りが、どのように広がったのか。

事務局

(図面にに基づき事務局で説明)

委 員

現在、三郷地域では水道水源転換工事が実施されているが、水源転換が完了し、三郷地域のすべての水道水が地下水となれば、今回のような濁りは発生しないのか。

事務局

水源転換が完了すると、濁りは発生しにくくなると思われるが、水道管内に付着しているマンガンが残っていれば流れ出す可能性がないわけではない。今後の対策として、水道管内にカメラを入れて状況について調査する。

委 員

今までに、このような濁りが発生したというような経緯はあるのか。

事務局

マンガンによって濁りが発生したということは聞いていない。原水の取水時に濁水により濁ったということはあったが、マンガンにより濁ったことは初めて。

委員

どのくらい濁ったのかサンプルはあるのか。

《水道水サンプル提示》

事務局

三郷地域のすべてが、そのような濁りになったわけではない。浴槽に水を貯めたら底の方に若干の沈殿物がある程度のところもある。一番酷いところでサンプルと同じ。

委員

濁流が入った時に、水道水を止めるなり、何らかの調査はしたのか。今回突然マンガンによる濁りが発生したということに疑問を感じる。過去にこのような事例がなかったのか。過去にこのような事例があつて放置してきたというようなことがないのか。今回マンガンが大量に流れ出すという大きな原因があつたのか。

事務局

水道管の中の状態がどのようになっているか、現在のところ不明。数年前と比較して、マンガンの量が非常に増えている。

委員

今後も再発する可能性はあるのか。

事務局

絶対にはないとは言えない。

議事② 平成24年度水道事業会計決算について

事務局

(議事②資料に基づき事務局で説明)

会長

何か質問等あるか。

委員

有収率は、漏水で無駄になってしまう水が多いかどうかということか。

事務局

有収率は、高いほど良いとされている。市のレベルでは一般的には80%から90%代となっている。安曇野市全体で平成24年度決算値は77.6%となっているので、100%から差し引いて残りの22.4%は配水管からの漏水が主で、このほかはお客様の宅内漏水となる。

委員

明科地域の漏水はどのような対策を取っているのか。

事務局

明科地域は山間部が多く入り組んだ地形となっており、配水管も簡易水道を引き取ったという経過もあり、本管漏水の箇所が明確には特定できない状態だが、今年度から本管の流量の調査を実施し、系統を絞って漏水対策を進める。

議事③ その他について

事務局

消費税率の改定に伴う水道料金の改定について、国の方針が決定次第、審議会を開催したい。

会長挨拶の後、閉会。

会議終了 午後3時50分